

# 北海道立近代美術館



## A 優れた作品の収集と適切な保管

- 美術品取得基金の活用 → 3点購入予定（ガラス工芸3点）
- 収蔵作品の保守・整備 → 野外彫刻2点（新宮晋《風の対話》《光のリズムⅡ》のメンテナンス）
- 作品の額の裏板などを保存に適した素材に変更 → 本年度末に実施予定

## B 多彩で特色ある展示活動の充実

※ 展覧会の内容については別途説明（6P）

## C 学習の場と情報提供の充実

- 「ウィズ・キッズ '24」の一環として、子どもを対象とした事業を実施  
→ 「なぜこのかたちなの？」でハンズオン鑑賞2回、「さいきょうのざいりょう」でキッズツアー2回
- スマートフォンアプリ「ポケット学芸員」を活用した音声ガイドの充実  
→ 近美・三岸・知事公館エリアの野外彫刻など8点の解説を作成し「ポケット学芸員」に追加
- 展覧会に関連した外部講師による講演会等の実施  
→ 「琳派×アニメ」「高山寺展」「皇室の秘宝」「星の瞬間」で9回
- HP及びSNSを通じて、展覧会や関連事業の情報を発信  
→ HPアクセス615,902件（4/1～1/21）、SNSの投稿数：320件

## <野外彫刻のメンテナンス>



新宮晋  
《風の対話》  
メンテナンス



新宮晋  
《光のリズムⅡ》  
メンテナンス

## <講演会等>



高山寺展講演会 講師：石塚晴通氏  
(高山寺責任役員、高山寺典籍文書総合調査団代表)



「さいきょうのざいりょう」展  
キッズツアー (12/01実施)

## D 活動の基礎となる調査・研究の推進

- 特別展、自主企画展等に関連した調査・研究
- コレクション研究 → 研究紀要の発行、「星の瞬間」展・「この1点を見てほしい。」の実施
- 最新の展示環境に関する情報の収集及び展示のノウハウの研究 → 照明機器購入予定

## E 多様な主体との連携・協力による地域の活力向上

- 北海道美術館協力会、美術館ボランティアと連携した教育普及事業の実施
- 小中高等学校等と美術館をオンラインで結ぶ「オンライン・アート教室」の実施 → 豊富町立豊富中学校ほか7校を対象に実施
- 「アートギャラリー北海道」事業として苫小牧市美術博物館所蔵品展の実施
- 札幌市内の画廊及び現代美術作家と連携した「星の瞬間」展の開催



オンラインアート教室  
(豊富中学校)

## F 安全で快適な滞在環境の提供

- 施設・設備の点検実施、計画的な補修工事の実施  
→ 道教委技術職員による定期点検、常設展示室空調設備修繕工事（R7.3月実施予定）



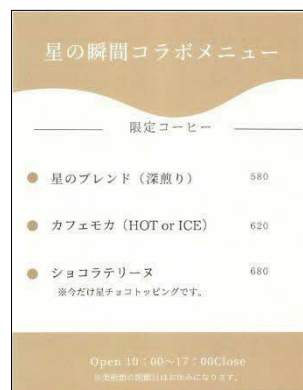
○ カフェスペース新規出店者との協働した取組の実施

→ R6.7.9にカフェがオープン

→ R7.1.5からの特別展で出店者との協働した取組を展開



< コラボ① 割引 >



< コラボ② 限定メニュー >



< Marley 近代美術館店 >

○ 来館者アンケート回収率向上のための取組の実施

→ 用紙レイアウトの見直し

→ アンケートの設置場所及び表示の工夫

→ 芸術週間 (R6.11.1~7) に受付でお声かけ (提出者に粗品進呈)



< アンケート回収件数等 >

R 4					R 6 (R6.12.31現在)				
紙	WEB	合計	観覧者数	回収率	紙	WEB	合計	観覧者数	回収率
1,869	55	1,924	419,527	0.5%	1,752	332	2,084	182,524	1.1%

※開館日数が同程度であるR4実績との比較



< アンケート表示 (展示室B 出口横) >

# 令和6年度展覧会事業

令和6年度  
展覧会

5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月

近美コレクション / 展示室A



塩谷直美《嵐の予感》  
2001年

近コレ1期  
3月23日(土)～6月16日(日)

越境者パスキン

現代ガラスのオノマトペ

片岡球子「面構」シリーズ

※展示は5月12日(日)まで。



片岡球子《面構 一休さま》2000年

この1点を見てほしい。  
山口蓬春《向日葵》1955年

※展示は5月12日(日)まで

新収蔵品展

※展示は5月18日(土)から

近コレ2期  
7月9日(火)～9月26日(木)

浮世絵のヒロインたち

組物・続き物から生まれるストーリー

岩橋英遠《道産子追憶之巻》



岩橋英遠《道産子追憶之巻》(部分)1978年

With Kids!  
ウィズ・キッズ'24  
なぜこのかたちのの？

アートギャラリー北海道  
港の今昔 苫小牧市美術博物館  
コレクションから

近コレ3期  
10月12日(土)～12月8日(日)

With Kids!  
ウィズ・キッズ'24  
みる・ふれる・つたえる  
さいきょうのざいりょう

温かいガラスへ  
岩田藤七の軌跡



岩田藤七《花器》1966年頃

この1点を見てほしい。  
荻須高徳《薪炭屋》1954年



中村木美  
《アリスの大ねずみ》2009年

特別展  
2025年1月5日(日)～3月16日(日)

星の瞬間

アーティストとミュージアムが  
読み直す、Hokkaido



伊藤隆介《風景考》2024年 作家蔵



小川原脩《男と白鳥》1939年 当館蔵

近コレ4期  
変貌する20世紀  
ヨーロッパ・ガラス  
プロダクトへ、アートへ



インゲボリィ・ルンディーン《花器・りんご》1957年

近コレ5期  
(R7年度 近コレ1期)  
3月29日(土)～7月6日(日)

リーヴル・ダルティスト  
—芸術になった本  
ルオー、ダヴィッド、マティス、  
シャガール

ウィズ・キッズ'25  
めでたいな！  
幸せながう日本の絵

パリのかほり  
アール・デコのガラス

新収蔵品展

3月29日(土)  
～2026年4月12日(日)

青木美歌  
《未生命の遊槽》

特別展等 / 展示室B

特別展  
4月20日(土)～6月2日(日)

「琳派×アニメ」展

～尾形光琳、神坂雪佳から鉄腕アトム、  
リラックマ、初音ミクまで～

主催：STV札幌テレビ放送



尾形光琳《富士三峯図屏風富士図》右隻 江戸時代中期 個人蔵

特別展  
7月9日(火)～9月1日(日)

国宝「鳥獣戯画」北海道初公開  
京都 高山寺展

明恵上人と文化財の伝承

主催：北海道立近代美術館、高山寺、北海道新聞社、  
HTB北海道テレビ、NHK札幌放送局



国宝《鳥獣戯画 甲巻》(部分)平安時代12世紀、高山寺蔵  
展示期間：7月9日(火)～7月28日(日)

特別展  
9月21日(土)～10月27日(日)

皇居三の丸尚蔵館展  
皇室の至宝(仮称)

主催：北海道立近代美術館、テレビ北海道、  
皇居三の丸尚蔵館



国宝 伊藤若冲《動植雑絵 紫陽花及鶏図》(部分)18世紀  
皇居三の丸尚蔵館収蔵

貸館  
12月5日(木)～12月15日(日)

北海道書道連盟創立  
70周年記念展

主催：北海道書道連盟

## 【展覧会の実施状況】

### 〈近美コレクション（常設展）〉

（令和6年12月31日現在）

期	展覧会名	開催期間	日数	実施状況	
				観覧者数	一日当たり観覧者数
第Ⅰ期	越境者パスキン／現代ガラスのオノマトペ／片岡球子「面構」シリーズ／この1点を見てほしい。／新収蔵品展	令和6年 3月23日（土）～ 6月16日（日）	62	7,752	125
第Ⅱ期	浮世絵のヒロインたち／岩橋英遠《道産子追憶之巻》／ウィズ・キッズ '24 なぜこのかたちなの？／港の今昔 苫小牧市美術博物館コレクションから	令和6年 7月 9日（火）～ 9月26日（木）	60	24,815	413
第Ⅲ期	ウィズ・キッズ '24 さいきょうのざいりょう／岩田藤七の軌跡／この1点を見てほしい。	令和6年10月12日（土）～12月 8日（日）	51	6,725	131
第Ⅳ期	リーヴル・ダルティストー芸術になった本 ルオー、ダヴィッド、マティス、シャガール	令和7年 3月29日（土）～ 7月 6日（日）	2		
計			175		

### 〈特別展〉

（令和6年12月31日現在）

展覧会名	開催期間	日数	実施状況	
			観覧者数	一日当たり観覧者数
「琳派×アニメ展」（貸館）	令和6年 4月20日（土）～ 6月 2日（日）	38	20,781	546
京都 高山寺展—明恵上人と文化財の伝承（実行委員会）	令和6年 7月 9日（火）～ 9月 1日（日）	48	82,981	1,728
皇居三の丸尚蔵館展（実行委員会）	令和6年 9月21日（土）～10月27日（日）	32	36,872	1,152
北海道書道連盟創立70周年記念展（貸館）	令和6年12月 5日（木）～12月15日（日）	10	2,598	259
星の瞬間 アーティストとミュージアムが読み直す、Hokkaido（道単）	令和7年 1月 5日（日）～ 3月16日（日）	61		
計			189	



## 1 - (2) 令和 7 年度事業実施計画 (予定)

(近代美術館)

## ① 令和 7 年度 道立近代美術館事業費予算

単位：千円

歳入予算					歳出予算				
区分	令和 6 年度 予算額 (a)	令和 7 年度 予算額 (b)	比 較 (b-a)	摘 要	区分	令和 6 年度 予算額 (a)	令和 7 年度 予算額 (b)	比 較 (b-a)	摘 要
常設展観覧料収入	6,968	6,968	0		常設展事業費	15,471	15,995	524	常設展（近美コレクション）にかかる経費
特別展（道単）観覧料収入	7,891	7,891	0		特別展（道単）事業費	10,232	10,802	570	道単開催の特別展にかかる経費
実行委員会展収入	0	0	0	(大規模県の例) 共催展収入20,000	特別展（実行委員会）負担金	4,000	2,000	▲ 2,000	実行委員会主催の特別展にかかる経費
実行委員会展展示室料	0	0	0		教育普及・調査研究資料収集費	821	821	0	美術講演会、普及活動のほか資料調査収集等を行う経費
貸館料収入	6,711	11,759	5,048	展示室、講堂等利用	親子ふれあい芸術体験事業	205	205	0	親子で美術館を楽しむワークショップなどを行う経費
芸術文化振興基金等収入	3,000	3,000	0		移動美術館	0	0	0	令和 5 年度から事業休止
キャンパスパートナーシップ	70	0	▲ 70		収蔵作品特別緊急修復事業	161	5,343	5,182	作品修復を行う経費
一般財源	6,288	6,586	298		その他	38	1,038	1,000	
計	30,928	36,204	5,276			30,928	36,204	5,276	



## ② 令和7年度の主な取組

### A 優れた作品の収集と保管

- 美術品取得基金の活用の取組
- 経年劣化した額装の更新など、収蔵作品の保全と環境の整備
- 野外彫刻の定期的なメンテナンス

### B 多彩で特色ある展示活動の充実

- 「目指す姿」実現に向けた展示の実施（ウィズ・キッズ'25、おはなし美術）
- ※ 展覧会の内容については別途説明（11P）

### C 学習の場と情報提供の充実

- 北海道リモート・ミュージアム（学芸員による展覧解説動画）の制作と配信（YouTube）
- 学芸員によるミュージアム・トークの実施
- アート・レファレンス・サービス（ARS）、ビデオ・ライブラリー、図書コーナー
- ワークシート（設問式解説書）の整備
- 夏休み期間中の子どもや家族を対象とした多彩な自主事業を実施
- 北海道美術館協力会ボランティアによるギャラリー・ツアーの実施

## D 活動の基礎となる調査・研究の推進

- コレクション及び今後の展覧会等に関連した調査・研究と地域社会への還元
- 一般利用者・研究者等が行う調査・研究への支援・協力
- 「目指す姿」（リサーチ）の実現に向けたコレクションに関わるアーカイブ構築
- リニューアル基本計画の作成に関わる美術館の設備や展示什器、および導入事例等の調査研究

## E 多様な主体との連携・協力による地域の活力向上

- 北海道美術館協力会との連携・協力（美術講座、ジュニア・アートクラブなどへの協力およびボランティア活動への支援・助言）
- 「オンライン・アート教室」（7～2月/7校程度）など、館外事業の実施
- 学校教育との連携・協力（指導者研修、博物館実習、美術体験充実事業（鑑賞学習支援ツール）などの連携事業実施のほか、自主研修、職場体験学習などの受入れ）
- 「アートギャラリー北海道」参加館のコレクション紹介や広報の相互協力
- 三岸美術館・知事公館との連携・協力（音声ガイドなど）
- 道立図書館との連携・協力（特別展に関連した図書コーナーの設置）

## F 安全で良好な滞在環境の提供

- 施設・設備の点検充実、計画的な補修工事の実施
- カフェ事業者との協働した取組の検討・実施
- 来館者アンケートに対する対応の充実

B 多彩で特色ある展示活動の充実

令和7年度 展覧会事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
近美コレクション／展示室A	(コレクション展Ⅰ期) 3月29日(土)～7月6日(日)			(コレクション展Ⅱ期) 7月19日(土)～11月24日(月・祝) ※9/24(水)～9/30(水)休館				(コレクション展Ⅲ期) 12月13日(土)～4月12日(日)					
	【1階】 ・ウイズ・キッズ'25 めでたいな！幸せねがう日本の絵  ・リーヴル・ダルティスト 芸術になった本ルオー、ダヴィッド、マティス、シャガール  【2階】 ・巴里のかほり アール・デコのガラス  ・青木美歌《未生命の遊槽》(通年展示)  ・新収蔵品展			【1階】 ・ウイズ・キッズ'25 赤・青・白 杉山留美子さんの部屋  ・1945-2025 美術は何を記憶しているか  【2階】 ・透明なガラス―スウェーデンのリリズム  ・青木美歌《未生命の遊槽》(通年展示)  ・アートギャラリー北海道 手のひらの宇宙―洞爺湖芸術館コレクション展  (屋外) ・【この1点を見てほしい。】本郷新《嵐の中の母子像》				【1階】 ・おはなし美術  【2階】 ・カラー・オブ・グラス  ・青木美歌《未生命の遊槽》(通年展示)  ・【この1点を見てほしい。】 池田良二《アントニ・タピエス氏に捧げるVaranasi》					
特別展等／展示室B	【貸館】道新 浮世絵スーパークリエイター 歌川国芳展 4月25日(金)～6月15日(日)			【実行委員会】Tv h 金閣・銀閣 相国寺展 若冲、応挙、芦雪 ―禅文化の名宝と美 7月19日(土) ～9月7日(日)				【貸館】道新 トーベとムーミン展 ～とっておきのものを探しに～ 10月1日(水) ～11月24日(月・祝)			【道単】自主企画 イワタルリ展 12月13日(土)～2月15日(日)		休室 (～'26/4中旬)  作品運搬用エレベーター改修工事により、作品等の移動が不可となるため



## 1 はじめに

北海道立近代美術館（以下「近代美術館」という。）は、昭和52年（1977年）7月にオープンして以来、本道の美術文化の創造・振興を担い、広く道民に親しまれるとともに、北海道の中核的美術館として大きな信頼と期待が寄せられています。一方、築47年となる施設は著しく老朽化が進んでおり、また、美術館を取り巻く状況が大きく変化していることから、このような現状に積極的に対応することが求められています。

## 2 現状と課題

### 1 施設の老朽化等

- 建物内外の著しい老朽化
- 電気、水道、空調、EV等の設備の老朽化、劣化

### 2 作品の収集・保存

- 収蔵庫等の狭あい化
- 収蔵環境の適切な保全、保管状態の改善
- コレクションの充実や作品修復の推進

### 3 調査研究

- 調査研究をより深化させるための研究環境の充実
- 自主企画展等、調査研究の成果を還元できる機会の充実
- 研究成果や作品・作家に関する情報などの、デジタル技術を活用したアーカイブ構築と公開・発信

### 4 展覧会

- 収蔵作品の活用機会の充実や移動美術館の実施方法の検討などによる鑑賞機会の充実
- 多様なニーズへの対応や展示環境の改善
- 作品を安定して管理できる環境の整備、展示用什器の保管場所の充実

### 5 教育普及事業

- ICTの活用や感性を育むプログラム、興味を喚起するイベントなど、教育普及事業の再構築
- 講堂の映像・音響・照明設備の老朽化等
- 来館者が自由に利用できるエリア、子どもが集い学べる場所の充実

### 6 利用者との関係

- ユニバーサル・デザインへの対応
- ボランティアが活動する場所等の充実
- カフェ・ショップ、展示室内外で休憩できる場所など、くつろぎの場所としての機能の充実

### 7 館運営

- 自主企画特別展等の展覧会事業等の縮小
- 団体受入れや、気軽に訪れるための駐車場の充実
- 三岸好太郎美術館の求められる役割や機能等、在り方の検討
- 目指す姿に相応しい美術館の名称の検討



## 3 目指す姿

### ビジョン

北海道立近代美術館は、アートの普遍的価値の継承・発展と、発信に取り組むことにより、誰もがその豊かさを享受することで、多様な人々が互いを受け入れ、活かし合う、創造性と活力にあふれる社会の実現を目指します。

私たちが目指すもの

### ミッション

- 北海道の美術文化の中核として、道民に信頼され、親しまれるとともに、誰もが楽しみ、学び、やすらぎを感じ、人生の豊かさを見いだすことができる場所となります。
- アートを介した新たな発見や感動体験により、人々の生涯を通じて創造力と豊かな感性を育み、刺激し続けます。
- 様々な人々や団体と協働し、地域のアートの活性化に貢献するとともに、多様性の尊重や持続可能性が求められるこれからの社会づくりに向け、美術館としての活動を積み重ねながら、道民とともに歩んでいきます。

私たちの使命、役割

### コンセプト

ハーモニー	くつろぎの空間としての魅力を向上させるとともに、多彩な展示を通して、個性の異なる誰もがアートに親むることができるよう、「ユニバーサル・デザイン」の考え方を、ソフト・ハードの両面に取り入れます。また、都心の緑の中にある美術館として、環境に最大限配慮した活動を行いながら、人とアートをつなぎ、文化と自然の調和のシンボルとなります。
コレクション	コレクションは美術館活動の原点であり、すべての人々に向けて開かれた文化と教育の資源です。収集方針に基づきながら、貴重な作品を系統的に収集し、展示やラーニング・プログラムなどに幅広く活用します。また、デジタル・データ化を進めながら、適切な取扱いと環境のもとで大切に守り、次世代へと引き継ぎます。
リサーチ	多岐にわたるリサーチ（調査研究）活動では、各分野における専門性を深めつつ、分野を横断し、総合することによって、アートの価値をさらに引き出し、美術館活動に幅広く活かします。また、誰もが北海道の美術について深く、多角的に学ぶことができるよう、資料のアーカイブ化などに取り組めます。
コラボレーション	アーティスト、ボランティア、学校、企業など様々な人々や団体と持続的な協働体制を構築し、多彩な展覧会を開催するほか、個人の成長・年齢や個性に応じた楽しみと学びの機会の創出を進め、地域の美術文化、美術教育を活性化します。
ウィズ・キッズ	子どもが自ら楽しみ、大人の手を引き何度も訪れたくなる美術館となるような展示、ラーニング・プログラム、ワークショップを企画・実施し、生涯にわたるアートとの関わりの礎を築きます。

私たちが取り組んでいくこと



## 4 リニューアルの基本的な考え方

### 技術的検討調査

比較の観点	改修+増築	現地新築	移転新築	
社会性	いずれも確保が可能			
環境性	約10本	約50本	約160本	
目指す姿の実現に向けた必要な機能	美術館活動	現建物の歴史的価値を継承	休館期間最長	休館期間最短
環境性	樹木伐採規模 ※工事箇所			

### 道民意見聴取

区分	主な御意見
景観	・ 緑に囲まれた美術館であってほしい。 ・ 今ある自然を大切に守り、残してほしい。
建築	・ 誰もが使いやすい施設に生まれ変わってほしい。 ・ 展示エリアや資料室をもっと広くしてほしい。 ・ 建物がアートとして魅力あるものになってほしい。 ・ 建築物としての価値を大切にしてほしい。 ・ 場所はそのままだに施設が生まれ変わってほしい。

### 整備方法の検討に係る考え方

項目	検討内容
「目指す姿」の実現	「改修+増築」は一定程度の面積拡大が可能で、「目指す姿」の実現に向けた必要な機能の確保が図られるほか、生態系への影響、解体廃棄物の量、既存ストックの活用の観点から、「ミッション」に謳われている「持続可能性」に最大限貢献できる。
美術館活動の継続性	技術的検討調査結果では、リニューアルの工事に伴う休館期間は、「移転新築」が最も短いとされているが、枯らし期間の大幅な短縮により、「改修+増築」においても休館期間の短縮が見込める。
環境への影響	技術的検討調査結果では、樹木の伐採本数は「改修+増築」が最も少なく、伐採に伴う回復措置も容易で、環境や景観に与える影響が最も少ない。
建築物に関する最近の議論及び現建物の歴史的・文化的価値	「価値のある建築物は長く使い続けることが時代の潮流」「改修によってバリューアップが可能」といった文化庁の「建築文化に関する検討会議報告書」や建設事業者からの助言のほか、現在の近代美術館の建物は、道民から親しまれるとともに、文化財への登録の可能性が指摘され、建築物として一定の評価を受けている。

現在の建物を活用し、「目指す姿」の実現に向けた必要な諸室や十分な規模を確保するため、諸室の転用や増築等のリノベーションを行い、歴史的価値を有する建築物としても次の世代に適切に引き継ぎ、本道文化の創造・振興の役割を果たしながら、歴史を受け継ぎ、新しい時代とともに本道の美術文化を拓く美術館として生まれ変わります。

- ・ 近代美術館の歴史的・文化的価値の継承
- ・ 将来を見据えた新たな機能の整備



歴史を受け継ぎ、新しい時代とともに  
本道の美術文化を拓く美術館

## 5 リニューアルの方向性

### ハーモニー

1 適切な展示・保存環境の確保や狭あい化の解消



- ・ 外壁等の補修、電気・空調・EV等の更新
- ・ 点検・メンテナンスや更新の容易化、環境負荷軽減、災害等に対応した展示・保存環境の整備
- ・ 収蔵庫の増築や諸室転用等による適切な保存環境の確保

2 様々なニーズへの対応や時代の変化を見据えた展示機能の進化



- ・ 幅広い人々が気軽に、深く鑑賞出来る展示室へ刷新
- ・ アートの潮流や展示技術の変化を視認し入れた展示室拡大・機能進化

3 多くの人が訪れる、居心地がよく、アクセスしやすい空間



- ・ カフェ、ミュージアムショップの充実
- ・ インバウンド対応、文化観光推進事業者等との連携
- ・ 施設設備のバリアフリー化、案内表示等のユニバーサル・デザイン化
- ・ 障がいのある方や修学旅行等の団体も利用しやすい駐車スペースの確保

4 都心の貴重な緑との調和と環境への配慮



- ・ ネイチャーポティブに基づく環境への配慮
- ・ 環境学習スペースや前庭の整備
- ・ 内装などへの地域材の活用

5 時代の進展にあわせたデジタル技術の活用



- ・ デジタルを活用した鑑賞
- ・ リアルアーカイブとデジタルアーカイブの融合

6 スタッフの専門性の向上や育成



- ・ アーティストやボランティア、学校、企業等との協働を通じた人材の育成
- ・ 博物館実習の実施による後進育成の充実

### コレクション

- ・ 系統的な収集と適切な保存、計画的な修復
- ・ コレクションデータベースの更なる充実
- ・ 作品・什器等の保管場所や荷解室等バックヤードの整備



### リサーチ

- ・ 学芸員の調査研究を充実するための環境を整備
- ・ インターネット等や出版による調査研究成果の社会還元を強化・充実
- ・ 道内美術館等の情報にアクセスできる特設ページの構築・運用



### コラボレーション

- ・ 音楽や舞踊、スイーツ、医療など多様なジャンルの個人・団体との協働による展示等の企画・実施
- ・ 講堂や映像室等を多様なジャンルの活動や情報・デジタル技術の発展に対応できるよう多機能化



### ウィズ・キッズ

- ・ 新たな時代を担う子どもたちの感性や創造力を育む発達段階に応じたラーニング・プログラムの開発等
- ・ 子ども視点に立った工夫した展示等のスペースや親子で楽しめるスペースの設置



## 6 今後の進め方

基本計画の策定	○ 「目指す姿」を実現するために必要な美術館の機能や役割を更に具体化し、リニューアルに必要な施設整備や運営方法に関する基本計画を策定
運営方法の在り方	○ PPP/PFI手法導入の適否に係る詳細な検討を実施 ○ 施設の維持管理や美術館事業の充実に向け、ファンドレイジングや企業等との協働による事業手法などを検討
休館期間中の取組	○ 休館期間中は、移動美術館の開催、他の美術館との連携、教育普及活動等の実施を検討 ○ リニューアルに係る機運の醸成に向けた様々な取組を検討



# 北海道立三岸好太郎美術館



# 3 - (1) 令和6年度事業の実施状況（三岸好太郎美術館）

## ①令和6年度の主な取組の進捗状況

### A 優れた作品の収集と適切な保管

#### ○優れたコレクションの形成

- 三岸好太郎作品14点及び関係資料15点を、三岸家遺族ならびに北海道内外の個人計4名から受贈し、さらなるコレクションの充実を図った。

#### ○所蔵作品の適切な保管

- 版画2点並びに水彩・素描1点、計3点について、UVカット低反射アクリル+中性紙ボードで額装し、作品保護の対策を取った。

#### ○コレクションの効果的な活用

- 堺市中央図書館が所蔵する安西冬衛寄贈資料を調査し、所蔵品展「モダニストの『蝶』詩人・安西冬衛と好太郎」展で紹介した。
- 所蔵品展では、それぞれ「ダブル」「匂ふやうな灰色」というキーワードによりコレクションを新鮮な角度から鑑賞していただく工夫をした。
- 特別展では、好太郎と同時代の画家が描いた戦前を中心とする札幌風景を展示し、古き良き時代の札幌の雰囲気を感じていただく。



<特別展リーフレット>

## B 多彩で特色ある展示活動の充実

### ○多様なニーズに応える展覧会の開催

→ 展覧会の内容については、別途説明。

### ○観覧者拡充のための工夫

- 所蔵品展では、冬衛と好太郎の詩句をカッティングシートで大きく掲出し、文字を展示の要素として活かした展示手法を取った。
- 特別展では、北一条教会、北光教会、北海道医師会などの市内の所蔵先から魅力的な作品を拝借し、展覧会の内容の充実を図った。
- 「みまのめ」展では、作者が所蔵する近作や新作を展示することにより、北海道の若手作家のフレッシュな表現を紹介し、特に高大生層の観覧者増を図った。



< #みまのめVOL.10 >

### ○館外における鑑賞機会の提供

- ミギシ・サテライト(北菓楼札幌本館)令和6年3月14日～令和7年3月13日において4点の作品(《北大のポプラ並木》O-51、《水盤のある風景》O-52、《貝殻と蝶》O-81、《風景》R-33)を順次展示。
- 国立アイヌ博物館「ミナ ミナ 『おばけのマールとすてきなことば』」展(3/16～5/12)に《赤い肩かけの婦人像》O-16《猫》O-39を貸出。



## C 学習の場と情報提供の充実

### ○教育普及事業の充実

- 学芸員によるギャラリー・トーク。
- ボランティア解説員による展示解説。
- #みまのめVOL.10出品作家によるアーティスト・トーク
- 美術講演会等の実施。
- 夏休み・冬休み時期中子ども向けプログラム「たんけん美術館」や人形劇の実施。
- 開館記念日、道みんなの日、カルチャーナイトなど無料開放の機会にあわせた多彩なプログラムの実施。
- 所蔵品展関連事業として詩の朗読会を実施。
- マール記念日読み聞かせ付きコンサートの実施。
- ミニ・リサイタルやミュージアムコンサートの音楽イベントの実施。
- 特別展関連事業として街歩きツアーを実施。
- シモトヒデノリ氏協力による折り紙建築のセルフワークショップを実施。

<ミニ・リサイタル>



<街歩きツアー>



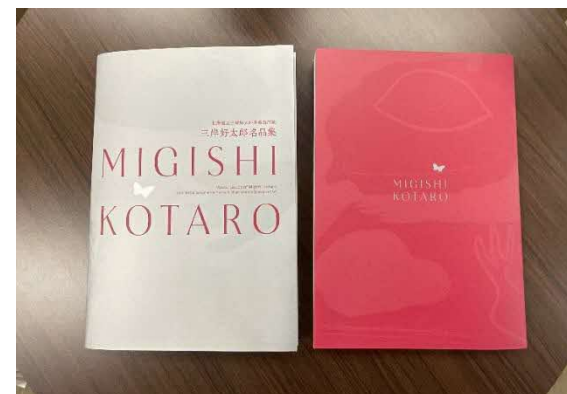
### ○情報提供の充実

- 新規にInstagramを開設し、X（旧Twitter）と併せてSNSを活用して展覧会情報や各種イベント情報、美術館情報などについて高頻度で発信した。
- 展示室内図書コーナーにおいて、好太郎の画集、書籍、図録、紀要、年報、美術館報、その他関連図書・文献資料などを閲覧に供したほか、三岸アトリエやミギシサテライトの解説文を設置するなどの情報提供を行った。
- ホームページにおいて展覧会情報や各種イベント情報について情報発信を行った。
- 外部リンク（文化遺産オンライン等）で主要作品の解説を含んだ作品情報を提供した。
- リモートミュージアムを制作し、YouTube上で多くの方に試聴いただいた。

## D 活動の基礎となる調査・研究の推進

### ○調査・研究の推進

- 特別展「わがこころの街 好太郎と画家たちの札幌」展企画のために、札幌市内の教会等が所蔵する戦前の札幌の風景画や、好太郎の風景画を調査して拝借し、同展の内容の充実を図った。
- 三岸好太郎の作品ではないかという情報提供（3件）に対し、聞き取りを行い、作品情報の充実に資した。
- 東京文化財研究所のデータベースをテーマとする研究会に発表者として参加し、今後、三岸好太郎のアーカイブ機能の強化について、有益な知見を得た。
- 1985(昭和60)年に40年ぶりに版を改めて三岸好太郎美術館後援会から『三岸好太郎名品集』を刊行するにあたり、学芸員が内容の監修ならびに編集に携わり、約80点の掲載作品すべてに作品解説を付し、調査研究の成果を広く共有することが出来た。



<三岸好太郎 名品集>

## E 多様な主体との連携・協力による地域の活力向上

### ○多様な機関との連携・協力

- 北海道美術館協力会と連携・協力し、ボランティア解説員による展示解説や協力会主催研修会への講師派遣を実施。
- 北菓楼札幌本館及び三岸好太郎美術館後援会と連携し、来館者にスイーツ交換券を配布。これにより、美術館から北菓楼札幌本館への人の流れを創出するとともに、ミギシサテライトの認知度を高めた。
- #みまのめVOL.10を開催し、北海道ゆかりの若手作家の表現活動を紹介した。また、10回目の開催を記念して、過去の出品作家を紹介するアーティスト・ファイルを作成した。

### ○学校等の教育機関との連携・支援

- 千歳高等支援学校の生徒が参加し、当館学芸員が講師として、教室と美術館をオンラインでつないだ鑑賞授業「オンラインアート教室」を実施した。
- 学校教育で活用できるプログラムを紹介するため、近隣の幼、小、中、高校や高文連主催のイベント会場等を直接訪問したほか、連携実績のある高校へ電話等により授業への活用案内を行った。
- 「博物館実習」及び「指導者研修」プログラムにおいて実習生、研修生を受け入れた。
- 学校の団体観覧において当館学芸員の解説・ギャラリートツアー等を実施した。
- 札幌市立北九条小学校及び市立札幌大通高等学校の児童・生徒を対象に出前授業を実施。

## F 安全で快適な滞在環境の提供

### ○施設の適切な維持管理

- 定期検査、巡回等で施設設備の機能や安全性を点検・確認し、施設の不具合や検査等で指摘のあった事項に対し、関係部署と連携し速やかに対応を行った。
- R6は、展示室壁面に水染みができたが、館職員、設備運転保守管理業者や工事業者と連携を図り、適切に対応した。



<第3展示室 水染みの一部>

### ○施設の快適性の向上

- 受付・監視等委託業者による丁寧な接客対応を実施した。
- 館職員、警備、受付・監視、設備運転管理保の各委託業者、カフェ・売店事業者がそれぞれ連携を図り、良好な滞在空間の維持・提供に努めた。



<カフェ きねずみ>



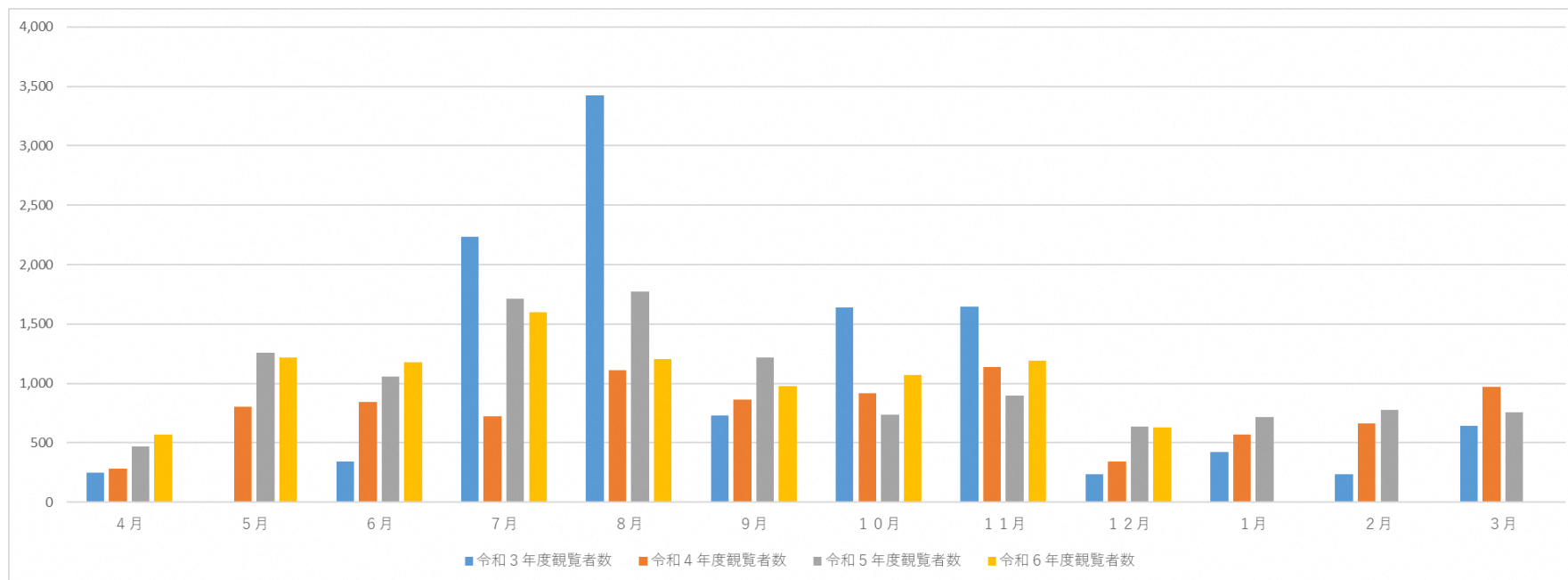
## ②令和6年度展覧会事業

2024				2025										
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
休館日	1~4,8,15, 19~26,30	7,13,20,27	3,10,17,24	1,5~12,16, 22,29	5,13,19,26	2,9,17,24, 26~30	1~4,7,15, 21,28	11,18,25	2,4~13,16, 23,29~31	1~3,6,14, 20,27	3,10,17, 25~28	3,10,17,24, 28~31		
展覧会	<b>所蔵品展 第1期</b> (12日間) 4月5日(金)~ 18日(木)  <b>恋する画家の 陶酔ざんまい</b>  ※R5年度より継続		<b>所蔵品展 第2期(59日間)</b> 4月27日(土)~7月4日(木)  <b>モダニストの「蝶」</b> <b>詩人・安西冬衛と好太郎</b> 蝶をモチーフとする清新な短詩で、モダニズム詩の旗手となった安西冬衛(1898-65)。「蝶と貝殻」の連作で白日夢のイメージの世界を切り開いた三岸好太郎。「蝶」をキーワードに、詩人と画家の感性の響きあいをご覧ください。 ■同時開催 <b>好太郎が描く男たち</b>			<b>所蔵品展 第3期(64日間)</b> 7月13日(土)~9月25日(水)  <b>ダブル・ファンタジー</b> <b>ふたつのものがあうとき</b> 「ダブル」という言葉をキーワードに、モチーフ、構図、色彩といった造形要素に注目しながら、ふたつのものを組み合わせることでみだされる、好太郎の絵画世界の魅力をひもときます。 ■同時開催 <b>好太郎とマリオネット</b>			<b>特別展(52日間)</b> 10月5日(土)~12月3日(火)  <b>わがこころの街</b> <b>—好太郎と画家たちの札幌</b> 好太郎がふるさと・札幌で描いた詩情あふれる風景画を中心に、同時代の画家が描いた古き良き時代の札幌風景を紹介します。大正から昭和にかけての、ノスタルジックな札幌のイメージをご堪能ください。			<b>所蔵品展 第4期(年度内81日間+次年度13日間)</b> 12月14日(土)~4月18日(金)  <b>「匂ふやうな灰色」</b> <b>—好太郎・乳白色の世界へ</b> 好太郎の妻で画家の三岸節子は、好太郎の魅惑的な乳白色の色彩を「匂ふやうな灰色」と呼びました。好太郎がこの独自の色彩の世界に至るまでの道程を、初期から晩年までの代表作によって跡付けます。 ■併催 AGH事業 12月14日(土)~2月24日(月振)(58日間) <b>mima-no-me#みまのめ(VOL.10)</b> 北海道ゆかりの若い美術家を紹介するシリーズ企画10回目。		
	連携展示	3~6月 北菓楼札幌本館における展示 ミギシ・サテライト		6~9月 ミギシ・サテライト			9~12月 ミギシ・サテライト			12~3月 ミギシ・サテライト				
普及事業・関連事業			6月8日(土) 詩の朗読会	7月下旬~8月中旬 「たんけん美術館」		10月19日 (土) 街歩き ツアー	11月3日 (祝・日) 講演会	12月中旬~2月下旬「たんけん美術館」			12月21日(土)「マール記念日」読み聞かせコンサート	12~2月 AGH事業「#みまのめ」アーティスト・トーク		
	(通年) * 所蔵品展展示解説 / 火~土 午後1~3時(祝日を除く) 解説: 北海道美術館協力会解説部ボランティア (随時) * 学芸員トーク/映像機器等利用のミニ講話(展示室内)。展示のみどころやエピソードなどを学芸員が語ります。1か月に1回程度。 (随時) * 館外講座/学校等の要望に応じて、学芸員が館外に出向いて講座を実施。													
(音楽事業)	5月18日(土) ミニ・リサイタル(教育大)			7月19日(金) ミニ・リサイタル(過年度公募者)			10月12日(土) ミニ・リサイタル(大谷大)	11月2日(土) ミニ・リサイタル(過年度公募者)						
* 図書コーナー/通年 2F 三岸好太郎に関する画集・図録・文献や、美術図書等を閲覧できます。 □アニヴァーサリー/7月2日は開館記念日(観覧無料+イベント) * 4月18日は三岸好太郎誕生日(節子命日) ■カルチャーナイト/7月19日(金) ■芸術週間/11月1日(金)~7日(木)														

## 【展覧会の実施状況】

(1) 所蔵品展		内容	開催期間	日数	観覧者数	
展覧会名					人数計	1日当たり
期	詳細					
第1期	恋する画家の陶酔さんまい ※R5年度より継続	多くの女性への陶酔を始め、触れあったさまざまなものに魅せられ、惚れ込み、恋するほどの情熱を燃やして生まれた秀作の数々をたどる。	4/5[金]～4/18[木]	12日	422人	35人
第2期	モダニストの「蝶」 詩人・安西冬衛と好太郎 ■同時開催 好太郎が描く男たち	蝶をモチーフとする清新な短詩で、モダニズム詩の旗手となった安西冬衛(1898-65)。「蝶と貝殻」の連作で白日夢的イメージの世界を切り開いた三岸好太郎。「蝶」をキーワードに、詩人と画家の感性の響きあいを紹介する。 ■多彩な女性像で知られる三岸好太郎が描く奥深い味わいの男性像を紹介する。	4/27[土]～7/4[木]	59日	2,789人	47人
第3期	ダブル・ファンタジー ふたつのものであうとき ■同時開催 好太郎とマリオネット	「ダブル」という言葉をキーワードに、モチーフ、構図、色彩といった造形要素に注目しながら、ふたつのもを組み合わせることでもみだされる、好太郎の絵画世界の魅力をひもとく。 ■手のひらに収まるような小さな操り人形をモチーフに、奇怪なイメージが生み出された《マリオネット》。好太郎と人形劇のかかわりやその周辺の人間群像などの背景も紹介する。	7/13[土]～9/25[水]	64日	3,536人	55人
第4期	「匂ふやうな灰色」 －好太郎・乳白色の世界へ ■アートギャラリー北海道 mima-no-me #みまのめ(VOL. 10)	好太郎の妻で画家の三岸節子は、好太郎の魅惑的な乳白色の色彩を「匂ふやうな灰色」と呼んだ。好太郎がこの独自の色彩の世界に至るまでの道程を、初期から晩年までの代表作によって跡付ける。 ■北海道ゆかりの若い作家を紹介するシリーズ企画10回目。10代から30代の作家4名(清水芹春、秋元さなえ、川村正寿、佐藤寧音)の作品展示とアーティスト・トーク。	12/14[土]～2025.3/27[木] (翌年度に継続～4/18[金]) (#みまのめ(VOL. 10)は～2025.2/24[月振])	81日 (13日)	(428人)	5人 (33人)
計				216日	7,175人	
(12/31現在)						
(2) 特別展		内容	開催期間	日数	観覧者数	
展覧会名					人数計	1日当たり
期	詳細					
	わがこころの街 －好太郎と画家たちの札幌	好太郎がふるさと・札幌で描いた詩情あふれる風景画を中心に、同時代の画家が描いた、大正から昭和にかけてのノスタルジックな札幌のイメージを堪能できる、古き良き時代の札幌風景を紹介する。	10/5[土]～12/3[火]	52日	2,464人	47人
計				52日	2,464人	

## 【観覧者数の推移】



項目	単位	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和3年度観覧者数	(人)	247	0	340	2,233	3,427	732	1,637	1,647	233	424	237	643	11,800
令和4年度観覧者数	(人)	282	805	840	725	1,109	861	917	1,139	342	569	660	972	9,221
令和5年度観覧者数	(人)	470	1,256	1,054	1,712	1,772	1,221	739	896	634	719	774	754	12,001
令和6年度観覧者数	(人)	572	1,220	1,176	1,601	1,201	977	1,071	1,189	632				9,639



## 3 - (2) 令和7年度事業実施計画（予定）（三岸好太郎美術館）

## ①令和7年度 三岸好太郎美術館事業予算

単位：千円									
歳入予算					歳出予算				
区分	令和6年度 予算額 (a)	令和7年度 予算額 (b)	比較 (b-a)	摘要	区分	令和6年度 予算額 (a)	令和7年度 予算額 (b)	比較 (b-a)	摘要
常設展観覧料 収入	1,473	1,766	293		常設展事業費	1,948	3,477	1,529	常設展に係る経費
特別展（道 単）観覧料収 入	1,038	995	-43		特別展（道 単）事業費	1,817	3,181	1,364	特別展（道単開催）に係 る経費
芸術文化振興 基金等収入	0	1,770	1,770		教育普及・調 査研究資料収 集費	304	300	-4	美術館事業の理解と関心を 高める教育普及活動のほか 調査研究・資料収集等に要 する経費
					親子ふれあい 芸術体験事業	173	172	-1	親子ふれあい芸術体験事業 の実施に要する経費
一般財源	2,897	3,749	852		その他	1,166	1,150	-16	広報経費等
計	5,408	8,280	2,872			5,408	8,280	2,872	

## ②令和7年度の主な取組

### A 優れた作品の収集と適切な保管

- ・美術館にふさわしい作品の収集活動の成果と課題を踏まえ、第四期北海道立美術館等作品収蔵計画に基づいた三岸好太郎の作品や資料の収集。
- ・展示・保存環境を適切な状態に保持。
- ・作品の状態・保管状況を適宜点検のうえ、必要に応じて修復や保管状況を改善。
- ・調査研究の進展を踏まえつつ、各テーマに即して多彩多様な作品展示となるよう工夫のうえ、保存面にも配慮し効果的に活用。

### B 多彩で特色ある展示活動の充実

- ・展覧会の内容については、別途説明。
- ・各企画テーマに沿った展示方法や解説パネル等の工夫に取り組み、作品の魅力をさらに引き出して理解と観覧の質を高める。
- ・コレクション以外の三岸作品や他作家の作品などの展示（特別展、みまのめ等）により、観覧者層の幅を広げ、美術館への注目度を高める。
- ・ミギシ・サテライトでの三岸作品の展示のほか、道内外の美術館等からの貸出希望への対応等により、三岸好太郎の魅力を館外に広く紹介して親しみを増すことに取り組む。

### C 学習の場と情報提供の充実

- ・ミニ・リサイタルや音楽会、アート・トーク、街歩きツアーなど展覧会の内容に関連したイベントの実施。
- ・夏休み・冬休み期間に子ども向けプログラム「たんけん美術館」の実施。
- ・学芸員によるトークや解説活動、ボランティアと連携した解説の実施。
- ・「#みまのめ」展での出品作家によるトークの実施。
- ・ホームページやSNSによる頻度の高い情報発信と、外部との連携による広報活動。

## D 活動の基礎となる調査・研究の推進

- ・令和6年度以降の展覧会関連テーマや他館所蔵作品、北海道の若い芸術家たちの活動等についての調査・研究。
- ・三岸好太郎や作品に関する資料（二次資料）や多様な情報の調査・収集・蓄積・保管・整理を進め、三岸好太郎の研究・鑑賞・学習等のセンター的・アーカイブ的な機能の充実、一般利用者・研究者等が行う調査・研究の支援・協力。

## E 多様な主体との連携・協力による地域の活力向上

- ・北海道美術館協力会や美術館ボランティアの活動への協力。
- ・北菓楼札幌本館での「ミギシ・サテライト」や後援会、地域の様々な団体等と連携・協力した事業の実施。
- ・「アートギャラリー北海道事業」の一環#みまのめ展による若手作家の表現活動の紹介。

## F 安全で快適な滞在環境の提供

- ・施設の安全性確保のため、定期点検や老朽化した設備修繕・更新などの必要な措置。
- ・館職員、受付・監視業者、カフェ・ショップ事業者の連携による良好な滞在環境の提供。



### ③令和7年度展覧会・教育普及活動事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																						
展覧会	<p>所蔵品展 第1期 (13日間) 4月4日(金)～18日(金) 「匂ふやうな灰色」 —好太郎・乳白色の世界へ ※R6年度より継続</p>	<p>所蔵品展 第2期 (47日間) 4月25日(金)～6月18日(水) アーモンドの瞳の女 —美神たちのまなざし 1～5室 同時開催： 好太郎のデザイン・ワーク 6～7室</p>	<p>所蔵品展 第3期 (53日間) 6月28日(土)～8月28日(木) 所蔵品展プレミアム 三岸節子生誕120年 永遠のオマージュ 好太郎と節子 1～7室 *三菱UFJ助成対象展</p>	<p>特別展 第3期 (70日間) 9月6日(土)～11月24日(月振) 線が、息づく。 好太郎の線、鈴木ヒラクのドローイング 1～7室 *芸術文化振興基金助成対象展 *芸術週間中の観覧料 ～団体観覧料</p>	<p>所蔵品展 第4期 (年度内87日間) 12月6日(土)～4月19日(日) *一部展示替2/24～2/27 *年度末休館3/27～3/31 ふたりの「悪童」—美術史家・外山卯三郎と好太郎 I期：1～3室 II期：1～7室 ■同時開催：AGH事業 12月6日(土)～2月23日(月振) #みまのめ〈VOL.11〉(64日間)4～7室</p>	連携展示	<p>3～6月 北菓楼札幌本館における展示 ミギシ・サテライト</p>	<p>6～9月 ミギシ・サテライト</p>	<p>9～12月 ミギシ・サテライト</p>	<p>12～3月 ミギシ・サテライト</p>	<p>3月～</p>	普及事業	<p>7月～8月 「たんけん美術館」</p>	<p>9月 鈴木ヒラク氏 ワークショップ&amp;トークセッション(9/5&amp;6)</p>	<p>街歩きツアー (9/27) 「好太郎の札幌を歩く—北大界限」</p>	<p>芸術週間 (11/1～7)</p>	<p>12月～2月 「たんけん美術館」</p>	<p>AGH事業「#みまのめ」 ・アーティスト・トーク</p>	<p>マール記念日 (12/20)</p>	音楽イベント (音楽のある美術館)	<p>・ボランティア展示解説 (平日13-15時) ・学芸員による ギャラリー・トーク (月1回程度)</p>	<p>アート・トーク 三岸太郎さん、三岸龍生さん (6/28)</p>	<p>7月1日 開館記念日</p>	<p>7月17日 道民の日</p>	<p>7月25日 カルチャーナイト</p>	<p>7月25日 ミニ・リサイタル(公募決定済み) 1部30分</p>	<p>8月9日 ミニ・リサイタル(教育大) 2部1時間</p>	<p>10月11日 ミニ・リサイタル(大谷大) 2部1時間</p>	<p>11月1日 芸術週間 ミニ・リサイタル(公募決定済み) 1部30分</p>	<p>12月20日 マール記念日 コンサート 30分</p>	<p>*図書コーナー／通年 2F 三岸好太郎に関する画集・図録・文献や、美術図書等を閲覧できます。</p>	<p>*所蔵品展示解説／火～土 午後1～3時(祝日および休館日を除く) 解説：北海道美術館協力会ボランティア</p>	<p>*学芸員によるギャラリー・トーク／映像機器等利用のミニ講話(展示室内 月1回程度[日曜など]) 講話：当館学芸員</p>	<p>□アニヴァーサリー／7月1日は開館記念日(観覧無料) 4月18日は三岸誕生日</p>